**国土交通省　建設業許可・経審電子申請システム（ＪＣＩＰ）への**

**データ連携に対応**

<ワイズ公共データシステム>

　経営状況分析機関のワイズ公共データシステム株式会社（本社：長野市）は、国土交通省が１月１０日から運用を開始した建設業許可・経営事項審査電子申請システム（以下 ＪＣＩＰ）へのデータ連携に対応した。

　同社が扱う建設業者向けの「かんたん書類マネージャ」、行政書士向けの「電子申請支援システム　建設業統合版」、同社関連企業の株式会社ワイズが扱う「Ｗｉｓｄｏｍ（ウィズダム）」は建設業許可関連書類作成、経審書類作成、評点計算・シミュレーション等が可能なシステムで、全国に多くのユーザーを持つ。今回、ＪＣＩＰへのデータ連携に対応し、高機能を備えた同社システムを使用しながら、建設業許可・経営事項審査の電子申請が可能となる。既存ユーザーは使い慣れたシステムを引き続き使用することで、一層の利便性の向上につながる。先行して同社システムからＪＣＩＰへのデータ連携に対応し、その後ＪＣＩＰから同社システムへのデータ取り込みへの対応を予定している。

同社システムは「Ｗｉｓｄｏｍ（ウィズダム）」シリーズ発売から３０年の実績を有し、共通データの連動の他、独自のグラフを使用したシミュレーション、経審の技術職員２業種自動選択、工事経歴書自動集計、配置技術者の重複確認等の機能を備える。

建設業者向けの「かんたん書類マネージャ」は同社及び国土交通省ホームページからダウンロードしての入手が可能で、導入料金や保守費用も不要、完全無償にて利用できる。

システム操作についてはワイズサポートセンター（０５０（５４９１）１１１２）にて受け付け、電話の他、インターネットを用いた遠隔サポートにも対応している。

右記、記事例はワイズ公共データシステム（株）ホームページからダウンロードしてご利用いただけます。

https://www.wise-pds.jp/press/2023/press20230116.htm

本件担当　西方　:info@wise-pds.jp